

情報公開文面

対象研究名：「ヒト中枢神経系の機能解剖を理解する基盤としての MRI データベースの構築研究」

京都大学医学部附属病院脳神経内科と精神科神経科で実施された以下の研究において撮像された画像データを上記の研究に提供させていただこうとしております。このことを望まない方は下記の窓口までご連絡ください。

対象者の選択基準

下記の臨床研究に、それぞれ下記の期間にご参加された方が対象となります。

(京都大学医学部附属病院脳神経内科において実施されたもの)

・C1435「Parkinson 病及び Alzheimer 病ディメンジョンを対象とした包括的神経画像研究」(通称: PADNI: Parkinson 's and Alzheimer 's disease Dimensional Neuroimaging Initiative)

(2018 年 11 月から現在進行中)

(京都大学医学部附属病院精神科神経科において実施されたもの)

・C809「反復性経頭蓋磁気刺激法(rTMS)によるうつ病の脳構造・機能変化についての研究」

(2014 年 4 月から 2019 年 9 月)

・C810「統合失調症および気分障害における、電気けいれん療法(ECT)による脳代謝、脳構造・機能変化についての研究」

(2014 年 6 月から現在進行中)

・C828「脳局所損傷とびまん性軸索損傷の症候学的特徴とその神経学的基盤・バイオマーカーに関する研究」

(2014 年 6 月から 2016 年 3 月)

・C1398「抑うつ・不安症状を核とした精神障害の病態解明」

(2018 年 10 月から現在進行中)

・C1607「心理状態が身体状態に与える影響についての生物学的研究」

(2023 年 5 月より現在進行中)

・C1624「マルチセンシングおよびマルチモダルイメージングによるヒト体性感覚ネットワークの全容解明」

(2023 年 4 月より開始予定)

・E293(R0027)「fMRI を用いた、統合失調症患者およびその第一度近親者の、認知処理能力と脳構造・脳機能との関連についての研究」

(2007 年 5 月から現在進行中)

- ・ E1034 「プロセス依存の神経基盤についての研究」
(2011年1月から2020年7月)
- ・ R0234 「高次脳機能障害者の症候学的特徴とその神経基盤・バイオマーカーに関する縦断研究」
(2015年12月から現在進行中)
- ・ R0246 「現代における生活習慣と認知機能の関連についての神経画像研究」
(2015年11月から現在進行中)
- ・ R0879 「対人・社会との関係に基づく主体価値の神経・行動基盤に関する研究」
(2017年1月から現在進行中)

研究目的・方法の概要

精神・神経疾患は原因や病態についてよくわかっていないものが多く、客観的な診断方法が不足しています。例えば海外では数千人規模で脳画像データを取得し、人工知能技術(AI)と組み合わせることによってうつ病の判別を行えることが示されたように、世界の潮流は、大規模にデータを取得してAIで解析することによって精神・神経疾患の原因を解明したり、客観的診断を補助する技術を開発したりする方向に向かっています。さらには、ヒトの高次脳機能や神経発達の理解、精神・神経疾患に関する研究の際に他の霊長類(マカク・マーモセット)のデータとの比較が重要であることが認識されつつあります。

そのため本研究では磁気共鳴画像装置(MRI)で撮像されたヒトや霊長類の脳画像とこれに付随する臨床情報を多数例収載したデータベース構築(目標症例数は900例)を目指します。このデータベースがAIで解析されることによって、病気の分類をより客観的に行えるようになったり、病気の原因を解明することにつながったり、どの治療法が良いかを比較することに役立ったりします。

また、この研究の知的財産権は研究参加者ではなく、この研究を行なっている研究機関・研究者に帰属することをご理解ください。

研究期間

本学倫理委員会承認日より2026年11月30日までの予定です。過去に行われた臨床研究については上記(**対象者の選択基準**)にそれぞれ書かれてある期間が対象となります。

提供する資料・情報の項目及び利用する者の範囲

ご協力いただいた検査結果のデータは個人を識別できないようにしてから京都大学大学院医学研究科脳統合イメージング分野のデータベースに収納されます。このデータベースは学術的な研究のために 独立行政法人科学技術振興機構バイオサイエンスデータベースセンター(NBDC)、 理化学研究所脳科学総合研究センター、 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター(NCNP)脳病態統合イメージングセンター(IBIC)、 革新脳臨床研究

グループデータリソースセンター、株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)脳情報通信総合研究所、国際脳データベースセンター、内容と機能が同等で公的機関により管理と運営が実施されるデータベースにも登録されます。なお、個人を特定できる個人情報を共同研究共同機関に送ることはありません。研究のための情報利用に関しては、京都大学内で行いますが、臨床研究の関係者(研究責任者により閲覧の許可を受けた担当者)研究関連機関および倫理委員会があなたの情報を閲覧する場合があります。ただし、これらの関係者には秘密を守る義務を課されていますので、あなたの個人情報が悪用されることは決してありません。

提供する資料・情報についてですが、各疾患における標準的な臨床評価項目、各種精神症状、認知機能に関連する神経心理検査、認知課題や質問紙票の点数、MRI 画像データと生理指標(心電図・呼吸)脳波計・表面筋電図・脳磁図・近赤外線スペクトロスコピーのデータ、経頭蓋磁気刺激による神経・感覚刺激データが該当します。

本研究の実施体制、研究機関の名称及び研究責任者の氏名

研究代表者・情報管理責任者：京都大学大学院医学研究科 脳統合イメージング分野
花川 隆

研究協力者：

京都大学医学部附属病院	脳神経内科	高橋 良輔
京都大学医学部附属病院	精神科神経科	村井 俊哉
京都大学医学部附属病院	麻酔科	加藤 果林
京都大学医学部附属病院	歯科口腔外科	山中 茂樹
のまこころのクリニック	院長	野間 俊一
同志社大学	教授	池川 雅哉
関西学院大学	教授	矢尾 育子
国立精神・神経医療研究センター	部長	高尾 昌樹

個人情報の取り扱いに関して

本研究で得られた脳画像や神経学的検査、認知課題、質問紙票などのデータは、研究結果の論文化から、少なくとも10年以上は保管してから廃棄します。ご本人さまの同意がある場合には、上記にて提供された資料・情報については本研究終了後も、個人の特定ができない形で京都大学ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースにて厳重に恒久的に保管し、後続の研究のための貴重なデータとして、大切に使用させていただきます。被験者情報は匿名化され、研究成果を学会や論文で発表する際にも、完全に匿名化された状態となっています。

利益相反に関して

本研究は文部科学省・厚生労働省などの基金や補助金、京都大学の学内予算でまかなわれています。これら資金の提供者は、研究の企画、運営とデータの管理・解析には関与致しません。利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

本研究に関して、お問い合わせいただくための手段について

本研究に関して、問い合わせが可能なように、本研究の内容、実施者、問い合わせ先について京都大学大学院医学研究科脳統合イメージング分野または京都大学医学部附属病院脳神経内科・精神科・麻酔科・歯科口腔外科のホームページに掲載いたします。

研究や個人情報に関する問い合わせや、研究への利用停止、研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧を求められた場合には、研究対象者でいらっしゃることを確認させていただいた上で、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、速やかに対応いたします。この研究にご自身のデータを利用されたくない方のデータは解析から削除しますので、下記窓口までお知らせください。

研究機関名・責任者

京都大学大学院医学研究科 脳統合イメージング分野 花川 隆

問い合わせ等の窓口

本研究課題の相談窓口: 京都大学医学研究科脳統合イメージング分野 花川 隆

(tel) 075-753-4432 (E-mail) contact@brainteg.med.kyoto-u.ac.jp

京都大学の相談窓口: 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けています。